

平成 30 年度  
下水道に関する人身事故発生状況について  
(平成 30 年 9 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 1.人身事故発生状況(総括)

(平成30年9月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (4)
	2. 負傷事故	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (4)	4 (3)	4 (4)	0 (1)	0 (3)	0 (7)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	20 (18)	20 (40)
	合計	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (5)	4 (3)	4 (4)	0 (2)	0 (4)	0 (8)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	20 (19)	20 (44)
	累計	3 (3)	6 (5)	8 (7)	12 (12)	16 (15)	20 (19)	20 (21)	20 (25)	20 (33)	20 (38)	20 (42)	20 (44)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (5)	0 (11)
	2. 負傷事故	3 (4)	4 (5)	5 (5)	14 (5)	4 (7)	5 (13)	0 (6)	0 (16)	0 (13)	0 (13)	0 (15)	0 (11)	35 (39)	35 (113)
	合計	3 (4)	4 (5)	5 (6)	14 (7)	4 (7)	5 (15)	0 (7)	0 (17)	0 (13)	0 (14)	0 (17)	0 (12)	35 (44)	35 (124)
	累計	3 (4)	7 (9)	12 (15)	26 (22)	30 (29)	35 (44)	35 (51)	35 (68)	35 (81)	35 (95)	35 (112)	35 (124)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (6)	0 (15)
	2. 負傷事故	6 (7)	7 (7)	7 (7)	18 (9)	8 (10)	9 (17)	0 (7)	0 (19)	0 (20)	0 (18)	0 (19)	0 (13)	55 (57)	55 (153)
	合計	6 (7)	7 (7)	7 (8)	18 (12)	8 (10)	9 (19)	0 (9)	0 (21)	0 (21)	0 (19)	0 (21)	0 (14)	55 (63)	55 (168)
	累計	6 (7)	13 (14)	20 (22)	38 (34)	46 (44)	55 (63)	55 (72)	55 (93)	55 (114)	55 (133)	55 (154)	55 (168)	-	-

※下段()書きは前年度(平成29年度)の値  
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成30年9月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	3	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	8	15
	2. 政令市	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	13
	3. 一般市	0	0	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	6	15
	4. 町村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	3	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	20	44
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. マンホール	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	3. 処理場	2	1	1	3	3	2	0	0	0	0	0	0	12	31
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1
	5. その他	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	合計	3	3	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	20	44
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	負傷事故	3	3	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	20	40
	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	2	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0	8	8
	3. 飛来・落下	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	7
合計	3	3	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	20	44	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 委託先業者	3	0	1	3	4	4	0	0	0	0	0	0	15	39
	3. 第三者	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	合計(人)	3	3	2	4	4	4	0	0	0	0	0	0	20	46
	累計	3	6	8	12	16	20	20	20	20	20	20	20	-	-

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	7	5	2	2	39
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	8	5	4	2	46
	累計	3	5	7	12	16	21	23	27	35	40	44	46	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

# 人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成30年度

平成30年9月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者	
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等		
<b>9月</b>								
1	H30.9.4	1. 都道府県	処理場	①負傷事故	3. 飛来・落下	台風の強風により飛散した資材を片付けていたところ突風が吹き、飛ばされた鋼板が作業員の頭及び腰に激突した。	従来の防災意識では考えられないようなものも飛ぶ可能性があることを念頭に置き、より一層の飛散防止に努める。具体には、鋼板に重りを乗せたうえ、鋼板をロープで束ね養生した。	委託先業者
2	H30.9.4	3. 一般市	処理場	①負傷事故	2. はさまれ・巻き込まれ	管理棟事務所出入口の扉を閉める時に、台風による強風で扉が勢いよく閉まったため、右手中指の指先をはさみ骨折。	強風時の扉の開閉時には、特に注意を払い、扉の取手以外の部分は持たないように周知徹底する。	委託先業者
3	H30.9.26	3. 一般市	ポンプ場	①負傷事故	2. はさまれ・巻き込まれ	マンホールポンプの清掃作業を行うため、2号ポンプを引上げて宙吊りにしていたところ水位が上昇してきたので1号ポンプのスイッチを入れようとしたら、間違えて2号ポンプのスイッチを入れてしまい羽根車が回る反動でポンプ本体が回転しケーブルを巻き込み、その際そばにいた作業員の足に巻きついて引っ張られ転倒し右足首を骨折。	作業員へ安全教育を行い、安全管理の周知徹底。 ・作業中スイッチに「作業中」の標記板を取り付ける ・ポンプは地面に設置した状態で作業を行う ・起動時は合図を行い、作業主任者がポンプの周りを確認して、スイッチを入れる	委託先業者
4	H30.9.30	1. 都道府県	マンホール	①負傷事故	2. はさまれ・巻き込まれ	マンホール蓋交換時に、不用意に指を出したため指を挟まれ負傷。	検討中	委託先業者

### 3.事故発生状況(工事) (平成30年9月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	4	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	9	10
	2. 政令市	1	4	3	4	4	4	0	0	0	0	0	0	20	22
	3. 一般市	1	3	5	11	3	6	0	0	0	0	0	0	29	88
	4. 町村	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	合計	6	8	10	18	8	10	0	0	0	0	0	0	60	140
工事分類	1. 管きょ開削	3	6	7	9	4	9	0	0	0	0	0	0	38	86
	2. 管きょ推進	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	18
	3. 管きょシールド	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
	4. 管きょその他	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	8	8
	5. 処ポ土木建築	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	7. 処ポその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計	7	8	10	18	8	10	0	0	0	0	0	0	61	140
事故類型	1. 墜落・転落	0	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	9	30
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	6	29
	3. 飛来・落下	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4
	5. 転倒	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	13
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	14
	12-2. 公衆災害(物損)	4	4	5	4	4	5	0	0	0	0	0	0	26	17
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. その他	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	
合計	7	8	10	18	8	10	0	0	0	0	0	0	61	140	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	2. 重傷	2	4	5	9	3	5	0	0	0	0	0	0	28	81
	3. 軽傷	1	1	1	10	1	0	0	0	0	0	0	0	14	38
	合計(人)	3	5	6	19	4	5	0	0	0	0	0	0	42	130
累計	3	8	14	33	37	42	42	42	42	42	42	42	-	-	
その他(民間発注工事など)															
1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	1	2	1	11	
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	4	13	8	9	13	10	81	
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	4	7	1	38	
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	7	17	14	14	22	12	130	
累計	4	9	15	22	30	44	51	68	82	96	118	130	-		
その他(民間発注工事など)															
1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成30年度

平成30年9月末現在

NO.	発生日月	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
9月										
1	H30.9.3	3.一般市	4.管きよその他	コンクリートはつり作業	現場内	高圧洗浄でマンホール内の腐食したコンクリートをはつる作業を行っていた際、右手で圧力調整レバーを握り、左手で高圧ノズルの先端部を支えて作業していたが、はつりの具合を確認するため一旦圧力を緩め作業を再開しようとした際、誤って圧力調整レバーを一気に強く握ってしまった。そのため急に圧力が40MPまで上昇し、支えていた左手が滑り高圧水が左前腕を直撃した。	4.切れ・こすれ	42	男	左前腕裂傷
2	H30.9.4	2.政令市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	試掘において、ガス中圧管φ150をバックホウバケットで傷つけた。	12-2.公衆災害(物損)			
3	H30.9.4	3.一般市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	掘削工事中(掘削深H=2.88m)4m掘削したところで、建込簡易土留を1スパン(3m)設置し、作業員2名が入り作業していたところ、1名が建込簡易土留外に出てしまい、そこに土砂が崩壊し、肩あたりまで埋没した。	7.土砂崩壊	29	男	左肩と腰の骨にひび有
4	H30.9.5	2.政令市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	ます取付管施工中にバックホウのツメにてガス管本管(低圧)PE50Aを部分破損した(供給を継続できる程度)。	12-2.公衆災害(物損)			
5	H30.9.10	3.一般市	1.管きよ開削	交通誘導	現場外	一般車両を誘導員が誘導中に普通自動車が誘導員に接触した。誘導員は路面に頭部を打ち出血。誘導員は、ライト点灯式安全ベストを着用し、誘導棒を所持した上で誘導を行っていたが、普通自動車の運転手が携帯電話を操作しながら運転したことによる前方不注意で誘導員に気付くのが遅くなったことにより事故が発生した。	8.交通事故	57	男	頭部裂傷、足腰打撲
6	H30.9.12	2.政令市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	下水管の入れ替え(陶管φ300→塩化ビニル管φ300)のため、バックホウにてスラグ路盤を掘削していたところ、ガス引込管を損傷させた。	12-2.公衆災害(物損)			
7	H30.9.25	3.一般市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	下水管VU200を布設する為、バックホウにて掘削中、重機と人力にて慎重に掘削作業を進めていたが、誤ってバックホウのバケツの爪先でガス管を損傷した。なお、ガス管損傷位置とガス管マーキング位置には70cmのズレがあった。	12-2.公衆災害(物損)			
8	H30.9.27	3.一般市	1.管きよ開削	敷鉄板敷設作業	現場内	現場内で、敷設用鉄板をバックホウ(1.7t吊りクレーン使用)を用いて敷設する作業中、狭小箇所での作業であったため、障害物(植木)と吊り荷が接触し吊り荷が揺れた。その際、近くに停めていた工事車両(4tダンプ)に吊り荷が接触しそうになったため、罹災者が接触を防ごうと吊り荷を掴んだ瞬間、車両と鉄板の間に、左手第二指を挟まれ負傷した。	2.はさまれ・巻き込まれ	19	男	左人差し指切断
9	H30.9.27	2.政令市	1.管きよ開削	掘削作業	現場内	ます・取付管施工箇所にてガス管が近接しているため、手掘り先行で掘削(ガス管一部露出)を行っていたところ、大割のコンクリートガラがでてきた。このため、バックホウでガラを撤去しようとした際、土中に隠れていたガス本管サドル部にガラが接触し、サドル連結部を破損させた。	12-2.公衆災害(物損)			
10	H30.9.28	3.一般市	1.管きよ開削	仮設工	現場内	掘削深約4mの現場内にて、土留め支保工を作業中、土留め支保工の点検を実施し、切梁りボルトの緩みを確認した部分の締め直し作業を実施する際、腹起し材に片足を乗せ、作業を始めようとしたところ、支保材の脱落と共に落下し受傷した。	1.墜落・転落	62	男	骨盤及び恥骨複数骨折・背骨圧迫骨折・右肩脱臼

平成 30 年度  
下水道に関する水質事故等発生状況について  
(平成 30 年 9 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局  
下水道部

# 水質事故等発生状況

(平成30年9月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
水質事故等	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	0 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	31 (53)
	累計	4 (1)	10 (4)	12 (10)	21 (16)	23 (17)	31 (28)	31 (33)	31 (39)	31 (46)	31 (49)	31 (53)	31 (53)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (1)	1 (1)	0 (2)	4 (2)	0 (1)	0 (3)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (15)
	2. 政令市	0 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (12)
	3. 一般市	3 (0)	3 (1)	0 (3)	4 (3)	1 (0)	7 (3)	0 (3)	0 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	18 (25)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	0 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	31 (53)
発生施設	1. 管渠	1 (1)	4 (2)	1 (3)	3 (1)	0 (0)	2 (2)	0 (1)	0 (3)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	11 (20)
	2. マンホール	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (2)	2 (0)	1 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (10)
	3. 処理場	2 (0)	1 (0)	1 (3)	4 (3)	0 (1)	3 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	11 (16)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (6)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	0 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	31 (53)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (1)	3 (3)	2 (3)	4 (3)	0 (0)	1 (6)	0 (3)	0 (4)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	10 (29)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (0)	2 (0)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (8)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (4)	0 (2)	0 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	16 (16)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	0 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	31 (53)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	2 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	4 (2)	2 (2)	4 (1)	0 (0)	3 (3)	0 (2)	0 (4)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	15 (21)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (5)
	水質事故 合計	2 (1)	6 (2)	2 (4)	7 (3)	0 (1)	7 (6)	0 (4)	0 (6)	0 (6)	0 (3)	0 (2)	0 (0)	24 (38)
その他案件	2 (0)	0 (1)	0 (2)	2 (3)	2 (0)	1 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (15)	
水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	0 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	31 (53)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
	② 耐用年数以内	2 (1)	2 (1)	0 (2)	2 (3)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	8 (17)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	2 (1)	2 (1)	1 (3)	3 (3)	2 (0)	2 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	12 (19)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※( )内書きは、前年度(平成29年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

## 水質事故等情報データベース

平成30年度

平成30年9月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
<b>9月</b>									
1	H30.9.3	3. 一般市	管渠	水質事故	-			河川へ遊離残量塩素が流入し、魚が大量に死んだ	遊離残量塩素が1mg/Lであることを確認したが、再度検査をしたところ異常値は確認できず、放流等は一時的であると考えられる。また、上流部の調査をしたところ既に異常値は確認できなかったため、原因者は不明。
2	H30.9.4	3. 一般市	その他	その他案件	-			処理場敷地内の高木が強風によって折損し落下した際に、市道を通っていた車両の屋根に衝突し車両を損傷させた	・樹高の制限(高くなりすぎないように)及び枝が混まないよう定期的に剪定を行う。 ・樹勢が衰えてきている老木は適宜伐採を行う。 ・定期的に点検し、樹木状態を把握する。
3	H30.9.4	3. 一般市	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出			台風の影響で停電が発生し、マンホールポンプが停止したため、マンホールから溢水した	市の災害配備体制に伴う災害対応業務により人員が不足し、本案件への対応が遅れた。今後は人員体制の見直しなどを行い、復旧を迅速に行えるよう対応を進める。
4	H30.9.12	3. 一般市	その他	水質事故	-			河川へ油が流出した。	・オイルフェンス設置による対応を行った。 ・流出元等の原因は特定できなかった。 ・水路に油を流さないことをお願いする内容をホームページにて継続掲載する
5	H30.9.13	3. 一般市	処理場	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出			汚水ピット・ポンプの点検完了後、ポンプ槽水位計の電源を入れ忘れていたため、翌日汚水ピットから汚水が流出した。	維持管理操作マニュアル、チェックリストを見直し、点検後の稼働確認を実施することとする。
6	H30.9.18	3. 一般市	処理場	水質事故	①悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)			悪質下水が流入し、活性汚泥のバクテリアが死滅。放流水質が基準値を超えてしまった。 (流入水からはシンナー臭がしたとのこと)	・近隣の農業集落排水処理場から活性汚泥を引抜き投入 ・農業用水を取水しようとしている農会があったので、取水を制限するように連絡

## 水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応		
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応	
<b>9月</b>									
1	H30.9.2	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	28/50	耐用年数以内	橋に共架している圧送管に穴が開き漏水した。	汚水圧送管の橋梁添架部全延長の入替工事(一次改修)を発注し、現在履行中。併せて、引き続き監視を続ける。